

みんなでめざそう！「あわ文化検定合格」

徳島県教育委員会

徳島県では、「あわ文化」を次世代に伝承し、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信できる人材の育成に取り組み、あわ文化テキストブックを使っての「あわ文化教育」を推進しています。今年度も、希望者を対象に「あわ文化検定」と「あわっ子文化大使」の認定を次のとおり行いますので、積極的に取り組んでください。

1 「あわ文化検定」について

(1) 目的

あわ文化を次世代に伝承するとともに、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信するため知識理解が得られているかを確認する。※ 検定合格者には、全員「合格証」を発行します。

(2) 出題範囲 「あわ文化テキスト」の教材

- ・阿波おどりの歴史と魅力について語ろう
- ・阿波に根付いた人形浄瑠璃
- ・「板東俘虜収容所」で結ばれた、日本とドイツとの交流
- ・人々の衣服を染めた阿波の藍
- ・四国遍路とお接待
- ・陶器（セラミックス）で豊かな生活

(3) 出題形式 四者択一方式 (全30問 30分)

(4) 検定実施日 1月中旬～下旬

あわ文化検定
見本問題→

あわ文化検定（見本問題）

問1 阿波踊りのおはやしである「阿波よしこの」の第一人者として活躍した写真の女性の芸名は、次のうちどれでしょう。

①お舟さん ②お鮎さん ③お鯉さん ④およしさん

問2 明治時代の初めに作られ、現在の「文楽」につながる「文楽座」をつくった人物は、次のうちどれでしょう。

①竹本義太夫 ②植村文楽軒 ③近松門左衛門 ④井原西鶴

2 「あわっ子文化大使」について

(1) 「あわっ子文化大使」の役割

あわ文化を次世代に伝承するとともに、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信できる中学生のリーダーとして活動します。

(2) 「あわっ子文化大使」の認定

①選考方法

- ・あわ文化検定の結果とあわ文化に関する「作文」で、県教育委員会が、総合的に判断・選考し、認定します。

②あわ文化に関する「作文」

- ・あわ文化に関する感想や意見、要望、今後の関わり等の体験文や意見文
- ・400字詰め原稿用紙、600字から800字程度、テーマは12月に発表

(3) 活動期間

原則、中学校を卒業するまで（中等教育学校は前期課程を修了するまで）。

※「あわっ子文化大使人材バンク」に登録すると、活動期間終了後も活動することができます。

(4) その他

認定にあたっては、学校名、学年、名前、顔写真などが、テレビや新聞等で紹介されることをご承知ください。（※ 認定後の活動においても、同様です。）



3 「あわっ子文化大使」としての活動

あわ文化の紹介映像等に出演したり、各種の文化イベントで司会やレポーターを務めたり、広報誌への活動報告等を行うなど、あわ文化を県内外に発信する活動に取り組みます。

【活動について】

- ・原則、土、日、休業日に実施される個々の活動は、本人の都合に合わせて参加することができます。
- ・活動会場までは、原則、保護者の方に送迎をお願いします。
- ・活動会場の引率・指導は、原則、徳島県教育委員会担当者が行います。
- ・あわ文化教育のホームページに「あわっ子文化大使」の活動の様子や文化教育に関する資料等を掲載しています。ぜひご活用ください。

※あわ文化教育URL

<https://awabunka.tokushima-ec.ed.jp> ⇒

